



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日  
東

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所  
コード番号 3656 URL <http://www.klab.com/jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-5771-1100  
四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	14,590	△11.9	1,031	△54.6	123	△94.2	△801	—
27年12月期第3四半期	16,570	4.0	2,271	20.1	2,131	6.6	934	△27.6

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △740百万円(—%) 27年12月期第3四半期 974百万円(△22.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	△21.92	—
27年12月期第3四半期	25.71	25.14

(注) 平成28年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	12,062	9,153	75.4
27年12月期	12,633	9,867	77.7

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 9,099百万円 27年12月期 9,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	19,290	△7.8	1,381	△37.2	523	△72.7	△655		△17.95	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期3Q	37,902,000株	27年12月期	37,797,600株
28年12月期3Q	1,298,000株	27年12月期	1,327,800株
28年12月期3Q	36,548,978株	27年12月期3Q	36,347,834株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、14,590,806千円となり、前年同四半期比11.9%の減少となりました。これは主に、「ラブライブ! スクールアイドルフェスティバル」の売上が減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間における費用面では、売上原価は3,827,664千円となり、前年同四半期比5.7%の減少、直前四半期比23.7%の増加となりました。これは主に、売上増減に伴う使用料及び支払手数料が増減したことによるものです。また、直前四半期中において「パズルワンダーランド」及び「Age of Empires: World Domination」を減損損失したことにより、減価償却費が減少しております。

販売費及び一般管理費は904,049千円となり、前年同四半期比33.4%の減少、直前四半期比7.3%の増加となりました。これは主に、広告宣伝費が増減したことによるものです。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高14,590,806千円（前年同四半期比11.9%減）、営業利益1,031,098千円（前年同四半期比54.6%減）、経常利益123,629千円（前年同四半期比94.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失801,320千円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は12,062,573千円となり、前連結会計年度末に比べ、570,598千円の減少となりました。

流動資産合計は8,109,726千円となり、前連結会計年度末に比べ、369,853千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の増加及び有価証券の減少によるものであります。

固定資産合計は3,952,847千円となり、前連結会計年度末に比べ、200,745千円の減少となりました。これは主に、無形固定資産の減少及び投資その他の資産の増加によるものであります。

## (負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,909,523千円となり、前連結会計年度末に比べ、143,608千円の増加となりました。

流動負債合計は2,907,841千円となり、前連結会計年度末に比べ、175,058千円の増加となりました。これは主に、買掛金の増加によるものであります。

固定負債合計は1,682千円となり、前連結会計年度末に比べ、31,450千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

## (純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,153,049千円となり、前連結会計年度末に比べ、714,207千円の減少となりました。これは主に、利益剰余金の減少によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年12月期第4 四半期連結会計期間の売上高見込は4,700百万円としています。

費用については、年末年始にTVCMを計画しているため、第4 四半期連結会計期間において広告宣伝費は350百万円を見込んでいます。広告宣伝費以外については第3 四半期連結会計期間からの大きな変動は見込んでいません。

上記の結果、平成28年12月期連結業績予想は以下の通りとなっています。

平成28年12月期連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

売上高	19,290百万円
営業利益	1,381百万円
経常利益	523百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	△655百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

##### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

##### (減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取り扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

### (3) 追加情報

#### (法人税率の変更等による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率等の引下げが行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.34%から、平成29年1月1日に開始する連結会計年度及び平成30年1月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については30.86%に、平成31年1月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については30.62%となります。

なお、この税率変更による影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,634,476	4,202,996
売掛金	2,066,738	2,061,633
有価証券	1,217,039	—
仕掛品	—	138,847
その他	1,561,732	1,706,622
貸倒引当金	△407	△374
流動資産合計	8,479,579	8,109,726
固定資産		
有形固定資産	308,169	283,409
無形固定資産		
のれん	30,401	10,587
その他	1,391,443	934,325
無形固定資産合計	1,421,845	944,912
投資その他の資産		
投資有価証券	1,308,987	1,264,381
その他	1,120,544	1,466,096
貸倒引当金	△5,953	△5,953
投資その他の資産合計	2,423,578	2,724,524
固定資産合計	4,153,592	3,952,847
資産合計	12,633,172	12,062,573
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,093,543	1,423,997
短期借入金	—	121,344
賞与引当金	92,820	23,332
未払法人税等	112,246	—
その他	1,434,171	1,339,167
流動負債合計	2,732,783	2,907,841
固定負債		
長期借入金	30,000	—
その他	3,132	1,682
固定負債合計	33,132	1,682
負債合計	2,765,915	2,909,523
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,551,472	4,566,515
資本剰余金	4,247,228	4,262,271
利益剰余金	1,923,073	1,096,683
自己株式	△856,457	△843,196
株主資本合計	9,865,316	9,082,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,670	△117,574
為替換算調整勘定	△28,777	134,872
その他の包括利益累計額合計	△45,447	17,298
新株予約権	12,340	20,349
非支配株主持分	35,046	33,128

純資産合計	9,867,256	9,153,049
負債純資産合計	12,633,172	12,062,573

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
売上高	16,570,536	14,590,806
売上原価	10,805,284	10,586,010
売上総利益	5,765,252	4,004,795
販売費及び一般管理費	3,493,490	2,973,697
営業利益	2,271,761	1,031,098
営業外収益		
受取利息	9,147	22,110
受取配当金	129	4,132
助成金収入	—	11,668
受取解約金	17,994	—
その他	20,785	20,064
営業外収益合計	48,055	57,975
営業外費用		
支払利息	555	2,387
持分法による投資損失	18,406	19,615
為替差損	159,078	849,350
その他	10,021	94,091
営業外費用合計	188,061	965,444
経常利益	2,131,756	123,629
特別利益		
自己新株予約権消却益	56	1,433
特別利益合計	56	1,433
特別損失		
減損損失	65,325	757,700
その他	1,534	110,530
特別損失合計	66,860	868,230
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	2,064,952	△743,167
法人税等	1,135,804	52,994
四半期純利益又は四半期純損失(△)	929,147	△796,161
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支 配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,251	5,158
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	934,399	△801,320

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	929,147	△796,161
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94,732	△64,979
為替換算調整勘定	128,102	156,573
持分法適用会社に対する持分相当額	11,832	△35,924
その他の包括利益合計	45,202	55,668
四半期包括利益	974,350	△740,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	982,814	△738,575
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,464	△1,918

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、Oakキャピタル株式会社による新株予約権の権利行使があり、資本金が50,589千円、資本準備金が50,589千円増加しました。この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,546,450千円、資本剰余金が4,242,205千円となっております。

また当社は、平成27年5月18日及び平成27年8月25日開催の取締役会決議に基づき、自己株式174,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が246,346千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が859,795千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	16,538,922	31,614	16,570,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	16,538,922	31,614	16,570,536
セグメント利益	5,757,927	7,324	5,765,252

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他事業を含んでおります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計 (注) 2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	14,532,054	58,752	14,590,806
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	14,532,054	58,752	14,590,806
セグメント利益又は損失(△)	4,021,896	△17,101	4,004,795

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、イベント事業・その他事業を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったKLab Entertainment株式会社を連結の範囲に含めたことにより「イベント事業」を事業セグメントとし、「その他」の区分に含めて記載しております。

また、第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」として記載していた報告セグメントにつきましては、重要性が乏しいことからセグメントの区分方法を見直し、「その他」の区分に含めて記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分に基づき作成したものを記載しております。